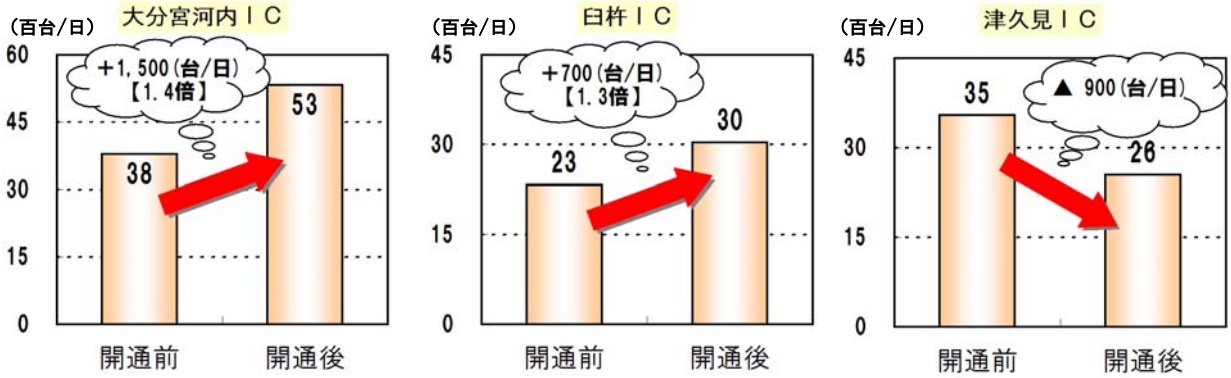
2．インターチェンジの利用状況

■ 大分宮河内ＩＣ及び臼杵ＩＣの出入交通量は、約 1.3～1.4 倍に増加しています。
■ 一方で、津久見ＩＣの出入交通量は、約 900 台/日減少しています。これは、東九州道が佐伯ＩＣまで延伸したことによるものと考えられます。
■ 佐伯ＩＣを乗降りした利用者の約６割は、大分市内のＩＣとの利用となっています。

◆ 隣接 IC の出入交通量の変化



※出入交通量：インターチェンジを流入・流出した交通量　（ネクスコ西日本営業データ）
※集計期間：開通前）平成 19 年 10 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日　開通後）平成 20 年 10 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日



◆ 佐伯 IC 利用状況

右グラフは、佐伯 IC を流入・流出した車両の発着する IC 別に集計したもの。

※佐伯 IC 出入交通量とは、平成 20 年 10 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日までの日平均交通量。
※大分市内 IC とは、大分 IC、大分光吉 IC、大分米良 IC、大分宮河内 IC の 4 つ IC。

